

わざとじゃないけどどうしよう…

バイオリンが壊れちゃった!

中学生

高校生



あらすじ

青井君と赤木君は、学校でバイオリンの練習をしていました。部屋の移動のために青井君のバイオリンを持った赤木君は、廊下を走る黒田君とぶつかって、バイオリンを壊してしまいます。しかも、青井君のバイオリンは、ルールを破って持ってきた高価なものでした。このとき、バイオリンを壊した責任は誰にあるのでしょうか?それぞれの事情を整理して考えましょう。

授業の詳細

- 対象** : 中学生～高校生
※対象年齢に合わせて内容を変更します。
- 関連教科** : 社会科・道徳・国語・特別活動
- 授業時間** : 100分 (50分×2コマ)

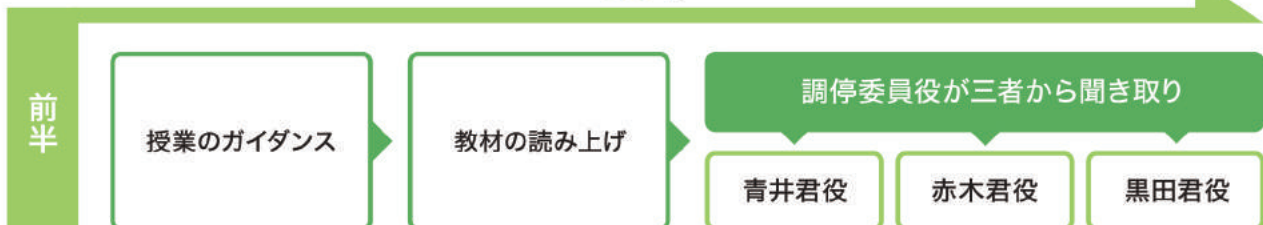
プログラムのねらい

学校内で起こりうる事故を題材に、裁判とは異なる民事調停に近い状況を経験することで、「紛争当事者が、第三者に間に入ってもらい、お互いの言い分を聞きながら歩み寄る」というプロセスを体験し、一緒に問題を受け入れ、**良い対人関係を築く道徳観念**も学んでいきます。

授業の流れ

生徒が青井君役、赤木君役、黒田君役、調停委員役に分かれて、話し合いによって和解案(調停案)を作成します。

50分



50分



ルールの公平なあり方を学ぶ

うさぎの掃除当番

小学校
高学年

中学生



あらすじ

学校でうさぎを飼うことになりました。みんなで順番にお世話をするというルールを作りますが、いろいろな理由でうさぎ当番をサボる子が増えてきて、ついにはうさぎは病気になってしまいます。このままではうさぎを飼いきれなくなってしまいます。みんなにとって公平なお世話ルールを作ることはできるでしょうか。

授業の詳細

- 対象 : 小学校高学年～中学生
- 関連教科 : 社会科・道徳・国語・特別活動
- 授業時間 : 100分 (2コマ)
- チーム分け例 : 35名(7名×5チーム)

プログラムのねらい

うさぎの掃除当番という、子ども達にとって身近なトラブルを通じて、**社会におけるルールの役割**を学ぶと共に、さまざまな意見や事情を持つ人々の中で、みんなが納得できる**公平なルールのあり方**を実践的に学びます。

授業の流れ

さまざまな意見や事情のある生徒たちの立場を記入した「立場カード」を配布し、実際にその役になってもらい、ロールプレイ形式で公平なルールを考えていきます。

立場カード

部活動で忙しい安田さん
放課後は毎日サッカー部の練習があるので、うさぎ当番ができない。特に、1年生は先輩や先生が来る前に準備をしなくてはならないことになっており、部活動に30分遅れて行くなってしまう。

事前に配られた自分の役の立場カードを読んでおきます。

100分

ストーリーの確認

ヒアリングと
ディスカッション

ルールの変更について
ディスカッション

講評